

事務事業名		健康づくり拠点推進事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	健康政策G	課長名	狩野 明芳	
	施策名	(21)健康づくりの推進		担当者名	石田 誠	電話番号	0854-40-1040 (内線) 2172	
	目的対象	市民	意図	心身ともに健康で暮らす。				
	基本事業名	(062)地域ぐるみで取り組む健康づくり		予算科目	会計 012002 款 2002 目 050522	大事業名	保健衛生総務管理事業	
目的対象	市民	意図	地域ぐるみで健康づくり活動に取り組む。				中事業名	健康づくり拠点推進事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H22 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	H24年3月に答申を受けた「医療と保健の融合による健康づくり拠点整備事業の在り方に関する検討報告書」を基に、H27年度上半期においてプール運営に関する具体的な検討を行い、「雲南市健康づくり拠点整備基本計画」を策定した。施設管理部門は教育委員会が、各種教室等ソフト部門は健康福祉部が所管し、それぞれが連携を図りながら協議・検討を進める。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・健康づくり拠点運動プログラム企画運営業務委託 ・専用バス購入 ・オープンに向けた各種調整 ・オープン後の状況把握等	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・健康づくり拠点運動プログラム企画運営業務委託 ・状況把握、改善のための協議等			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	継続協議事項達成度	%	0	77	100	100
イ	プールプログラム数	教室			8	9
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	市民	ア	人	38,506	37,794	37,012	37,496
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
健康づくりに取り組む	ア	人	0	0	182	210	
	イ	円	0	0	673,228	755,990	
	ウ	%	0.0	0.0	60.4	65.0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
・役務費 12千円 ・委託料 4,568千円 ・使用料及び賃借料 22千円 ・備品購入費 10,155千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			10,727
	一般財源	千円	0	3,964	4,030	3,995
	事業費計(A)	千円		3,964	14,757	3,995
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	
	延べ業務時間	時間	10	800	400	
	人件費計(B)	千円	40	3,262	1,733	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	40	7,226	16,490	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H27年度に「雲南市健康づくり拠点整備基本計画」を策定した。H29年度より着工、H30年7月8日に竣工式を終え、翌7月9日から一般供用開始した。また、一般利用者の利便性を高め、かつ、遠隔地からでも教室利用が可能となるよう、専用バスの導入を図った。	H24年3月に検討委員会から市に対して検討報告書が提出された。検討結果を基に、具体的なプール運営に関する検討会を行い、その結果を基に基本設計を行った。以降、施設管理部門は教育委員会が、ソフト部門について健康福祉部が所管し、一体的に進めている。	多くの市民の方に活用いただき健康づくり・体力づくりに繋げていただくとともに、利用料収入を上げ指定管理料の縮減を図り、運営を安定化させる必要がある。また、事業の成果をしっかりと検証するよう意見があっている。

事務事業名	健康づくり拠点推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり政策課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	H30年度にリニューアルオープンしたばかりであり、成果はこれから向上させていく必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	雲南市の健康づくりの拠点として整備しており、廃止・休止となれば市民の健康づくりが停滞する。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)		海洋センター管理事業、木次健康温泉センター管理事業、三刀屋健康福祉センター管理事業、リフレッシュセンター運営事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		理由
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	多くの参加者を得ることにより、経費の削減を図る必要がある。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	今後事業が軌道に乗り、効率的に遂行できるようになれば、削減の余地はある。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	様々な年齢層・ニーズに対応したプログラムを提供するとともに、遠隔地からでも教室参加可能となるよう専用バスも導入したことから、公平・公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		H30年度にリニューアルオープンした。整備方針の目的を果たすよう、事業の評価・検証を行いながら、今後も継続して検討・調整・協議及び事業実施を進めていく必要がある。
B 有効性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上	●																		
	維持		×																	
低下		×	×																	
○集客を図り、コストを削減する。 ○利用者拡大に向け、戦略的に取り組みを進める。 ○厚生労働大臣認定健康増進施設に向け検討を進める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			